

プレスリリース

2022 年 6 月 16 日

国立西洋美術館

新収蔵作品のお知らせ： アクセリ・ガッレン＝カッレラ《ケイテレ湖》と
カミーユ・クロードル《ペルセウスとゴルゴーン》

国立西洋美術館（東京都台東区上野公園 7-7、館長・田中正之）は 2021 年度にアクセリ・ガッレン＝カッレラ(1865－1931)の絵画《ケイテレ湖》と、カミーユ・クロードル（1864－1943）の彫刻《ペルセウスとゴルゴーン》を購入しました。

ガッレン＝カッレラは、近年、著しい国際的評価の高まりを見せているフィンランドの国民的画家です。同じ構図の 4 つのヴァージョンが知られる《ケイテレ湖》は彼の代表作であり、そのうち 1 点はロンドンのナショナル・ギャラリーに所蔵され、内外の注目を集めてきました。2008 年度に当館が購入したデンマークの画家ヴィルヘルム・ハンマースホイの《ピアノを弾く妻イーダのいる室内》*とともに、北欧絵画の魅力を伝えてくれることでしょう。

もう一点の《ペルセウスとゴルゴーン》を制作したクロードルは、近代フランスを代表する女性芸術家にして、師ロダンとの密接な関係でも知られる彫刻家です。当館では、ベルト・モリゾ《黒いドレスの女性（観劇の前）》**をはじめ、女性芸術家の作品の収集を積極的に進めてきましたが、今回の作品収蔵は重要な追加となります。また、ロダンを中心とする当館の近代彫刻コレクションの文脈を広げるものともなるはずです。

ガッレン＝カッレラ《ケイテレ湖》は、2022 年 6 月開幕の「国立西洋美術館リニューアルオープン記念 自然と人のダイアログ フリードリヒ、モネ、ゴッホからリヒターまで」展（6 月 4 日－9 月 11 日）で、クロードル《ペルセウスとゴルゴーン》は 2022 年度の常設展示の中で展示しております。

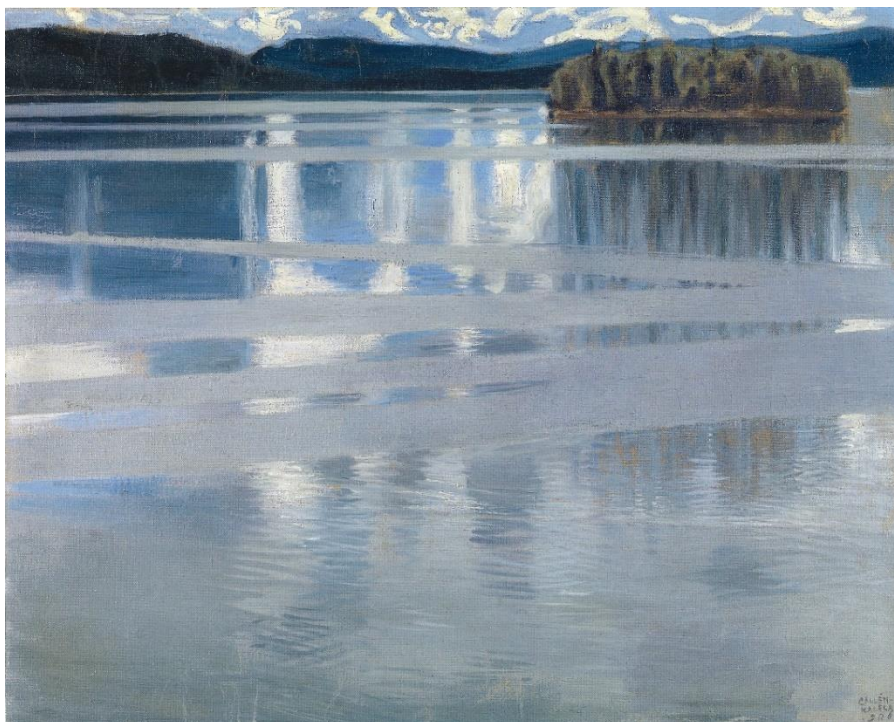
*作品詳細については所蔵作品データベース参照

<https://collection.nmwa.go.jp/P.2008-0003.html>

**作品詳細については所蔵作品データベース参照

<https://collection.nmwa.go.jp/P.2017-0002.html>

■アクセリ・ガッレン＝カッレラ 《ケイテレ湖》



アクセリ・ガッレン＝カッレラ

《ケイテレ湖》

1906 年

油彩、カンヴァス

61.0 x 76.2 cm

右下に制作年と署名："GALLÉN KALELA 1906"

P.2021-0001

作品について

本作は 1904 年夏にフィンランド中部のケイテレ湖畔から見た風景をもとにして描かれた。画面の大部分を占める湖面には、さざ波を表すジグザグのパターンが大胆に配されており、これはフィンランドの民族叙事詩『カレワラ』の主人公である英雄ヴァイナモイネンが漕ぐ船の航跡を暗示しているといわれる。ノーベル賞の生みの親である化学者アルフレッド・ノーベルを輩出したノーベル家が 1909 年に画家から直接購入した本作は、当初アルフレッドの姪にあたる女性が所有し、その後彼女の子孫に受け継がれた。同じ構図にもとづく 4 点のヴァージョンがあり、そのうちロンドン・ナショナル・ギャラリーが所蔵する 1 点は同館でも最も人気のある作品の一つとしても知られる。

アクセリ・ガッレン＝カッレラ(ボリ 1865ーストックホルム 1931)

19 世紀末から 20 世紀初めに国際的に活躍したフィンランドの国民的画家。友人である作曲家ジャン・シベリウスとともに、『カレワラ』を主題とする作品によって、当時ロシアの支配下にあった同国の独立運動の展開に大きな役割を果たした。

■カミーユ・クローデル 《ペルセウスとゴルゴーン》



カミーユ・クローデル

《ペルセウスとゴルゴーン》

1898-1905 年

ブロンズ、茶と緑のパatina、番号なし

51 x 30 x 22 cm

ウジェーヌ・ブロによる砂型 casting、1905-1906 年

ペルセウス像背後の台座に casting 銘：“EUG. BLOT / 5/ BD DE LA MADELEINE”

盾の下の台座側面に署名：C. Claudel

S.2021-0001

作品について

ギリシャ神話に由来する「ペルセウスとゴルゴーン」はクローデルが晩年に取り組んだ重要な主題である。目の合った相手を石に変えてしまうという怪物ゴルゴーンとその首を持つ英雄ペルセウスが、独自の装飾的な構成のもとに表現されている。怪物の頭部には作者自身の顔が投影されているともいわれる。クローデルはこの主題を石膏や大理石、ブロンズによる一連の作品に表した。本作はクローデル晩年の制作活動を支えたウジェ

ーヌ・ブロにより作者の生前に鑄造された、稀少なブロンズ像の一つである。

カミーユ・クローデル（フェール＝アン＝タルドゥノワ 1864 － モンファヴェ 1943）

女性彫刻家の草分けにして、近代フランスの最も重要な女性芸術家の一人。ロダンの門下として公私にわたる関係を結ぶ。やがて独自の作風を模索するが、ロダンとの愛憎関係や創作をめぐる苦悩から精神を病み、後半生を精神病院で過ごした。没後再評価が進み、自伝的要素を反映させた作品世界が高く評価されている。

■報道関係お問い合わせ先

国立西洋美術館 広報事務局

株式会社ユース・プランニング センター内

TEL：03-6821-8229 E-mail：nmwa(at)ypcpr.com

（受付時間：平日 10：00～18：00 ※土日祝日・年末年始等の対応はしていません。）